

# 『フローラ』

## —少女天才画家と詩人—

日時 2021年10月2日13時

場所 うつのみや妖精ミュージアム

講師 井村君江 (美術館名誉長)

### (1) \*パメラ・ビアンコ (Pamela Bianco, 1906-1994)

1910年、第一次大戦後の天才少女画家、12歳から16歳ごろ有名だった。

イタリア詩人・評論家・本屋とアメリカの女流絵本作家との混血児。

\*ウォルター・デ・ラ・メア (Walter De la Mare 1873-1956)

ケント生まれ、ロンドンで詩人・小説家として活躍。子供の心を失わない人々に書く。

・詩人としては、\*Peacock Pie (1913);\* Down-Adown-Derry, A Book of Fairy Poems (1922)

:\*O Lovely England (1952);\*Memories of Midget(1921)

・小説家としては\*The Three Mulla Mulgars(Three Royal Monkeys 1910)

---- (「ヤン坊、ニン坊、トン坊」(飯沢匡) NHK ラジオ放送)

The Henry Broken (1904)

(Listener, Dreamer, Traveller)

The Return (1910)----(田中西二郎『死者の誘い』)

(江戸川乱歩、佐藤春夫、三好達治、西條八十等に影響)「夢の世界ぞまことなれ」

Supernatural Horror in Literature : Children's poems

### (2) 『フローラ』(1920) デ・ラ・メア絵画讃歌、47編

(collected on a book of his poems and her sketches called Flora)

『フローラ』の本を書くのに、(デ・ラ・メア)の詩と(パメラ)の絵画が協力。

\*主な目次—— 朝化粧、なまめかしさ、聖なる喜び、花を摘む子供たち、天使と子供、自由な鳥、最初の歩み、雪片、聖母と天使、あゝ悲し、強い子、道、信仰、幻影、腰かけ裾を引く肖像、母と子、苦い水、唄い鳥、許し、気の狂った、森の赤ん坊たち、喜びさん。

### (3) パメラは14歳の時、ロンドンのチェルシーに滞在。

\*1928年 ウィリアム・ブレイク『無垢の歌』、\*1930年 オスカー・ワイルド『スペイン王女の誕生日』

母親『アンデイの冒険』、『小さな木の人形』挿絵画家として活躍。

後半生はニューヨークで暮らす。2度結婚、ダンサーの一人息子。87歳で死亡。

### (4) 二人の共通点、超自然の世界を描くこと。(想像の世界)

パメラの絵画『フェアリーランド』、『フェアリーの春』

\*裸の子供(羽生える)17人、草間に寝そべる子供、花輪、聖母子(母親と子供)、蝶々、三角の葉の樹木、夕暮れ——純粋・無垢な子供の世界(自然と子供の一体化) 「われら五人」

私たち五人、愉快な者たち、

サイモンは草むらに横たわる。

喜びの時間は一時間あるよ。

人間の考えや見ることを止めて、

ご覧なさい、太陽が沈んでゆくのを。

私たちは遊び、私たちは遊んでいるのです。